

イネ科通信 15

トキワススキ・セイバンモロコシ

2012/11/23

トキワススキ（カンススキ）

トキワススキの花期は6~8月です。多年草で冬でも枯れないことからトキワススキと呼ばれています。関東以西の海岸、丘陵、堤防などに生えます。花穂は30~50cm、葉身の幅1.5~3cmです。大型花序の中軸が、その総（枝）より長く、稈（茎）の高さ2m~3m、葉の縁は硬くてざらつきます。

左の写真は11月下旬に岸和田市の蜻蛉池の近くで撮影したのですが、枯れずに青々としています。右の写真はその花序を拡大したものです。花期はとっくに過ぎているので穎果（果実）は全く残っていません。



トキワススキもススキ属ですから穎果（果実）もススキに似ています。下左はインターネットより引用したものです。その穎果をススキの穎果と比較してみてください。



トキワススキの穎果



芒のあるセイバンモロコシ

セイバンモロコシ（芒のあるタイプ）

イネ科通信 14 では芒のないタイプについて記しましたが、今回は芒のあるセイバンモロコシを蜻蛉池の近くで見かけました。セイバンモロコシの小穂は雄花2個と両性花1個から成っていますが、芒は両性花より伸びています。